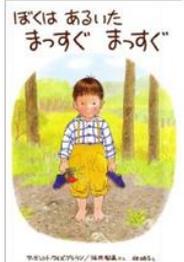
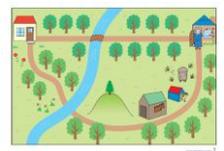


## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：絵本を持って「まっすぐ まっすぐ」とつぶやきながら登場。講師にぶつかるなど演出「これからおばあちゃんのお家までまっすぐ進んでいくんだ」と会話。</li> <li>講：「みんなは1人でお出かけしたことある？」と子ども達に問いかけながらお話をスタートする。</li> </ul>	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul>	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①電話の音、動物の鳴き声、蝶々やハチの羽ばたきなど文字には無い音なども必要に応じて表現する。</li> <li>②男の子のドキドキワクワクした、緊張感あふれる心情が、子どもにも伝わる様に読み進める。途中「何がいるのかな?」「これ何?」など子ども達にも問いかけながら読み進める。</li> <li>③活動①に繋がる最後のケーキに対して「何味?チョコレートケーキかな?」などと強調して確認しておく。</li> </ul>	保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を持って登場。講師と会話。</li> </ul> 

## かくしゅうタイム

活動①	記憶	絵本のストーリーと重ね合わせ、男の子の気持ちになってごっこ遊びを楽しむ	
設定	男の子が通った道を思い出して、おばあちゃんの家まで行ってみましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「無事に男の子がおばあちゃんの家に着けてよかったね」</li> <li>保：「今日は男の子からお手紙が届いてますよ」と提示用プリントと男の子カードを入れた封筒を届ける。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：プリント提示。「『おばあちゃんのお家までの地図です。ぼくが通った道を思い出して、みんなもおばあちゃんの家まで来てください。美味しいケーキを作って待っています』だって。チャレンジしてみる?」「おばあちゃんのお家までの道を覚えてるかな?」</li> <li>保：プリント配布。</li> <li>講：まずは絵を見ながら「男の子の家はどこ?おばあちゃんの家はどこ?」と、スタートとゴールを確認。「今日は男の子と一緒に思い出してみようか?」と男の子カード提示。※男の子に好きな名前を付けるのも良い。</li> <li>保：「こんにちは、よろしくね」と挨拶しながら男の子カードを配布。</li> <li>講：子ども達と一緒に地図の上で男の子カードを動かしながら進める。途中、地図の中の絵を見ながら、絵本の場面を思い出し会話。五感も刺激しながら進む。                      &lt;例&gt;「いい匂いのお花。おばあちゃんにおみやげに持って行こう」「美味しいものって何だった?」「靴を脱いでちゃぷちゃぷ。つめたいね」「ぶんぶん音がする。何の音?あ!危ない!」等</li> </ul>		P 1 男の子カード(両面テープ付) 提示用拡大プリント 提示用男の子カード(両面テープ付) ケーキシール1人1枚 ※カードは事前に△立体型になるように底辺を重ねて貼り合わせて準備。
	数にチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：途中「花」「野いちご」「蜂」を見つける場面で「いくつあるか数えてみよう」と問いかけ、それぞれ「2(本)」「3(個)」「4(匹)」の数を子ども達と一緒に確認しながら進めていく。</li> <li>子：講師のことに合わせて男の子カードを動かす、なり切るようにごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>講：進行状況を見てゴールのおばあちゃんのお家を確認「みんなでご挨拶…こんにちは」「おばあちゃん、ケーキ作ってくれてるよ。何味のケーキだったか覚えてる?」などと問いかけ、シールを配布する。</li> <li>子：物語を思い出して「チョコレートケーキ」を確認。「ありがとう」と受け取る。</li> <li>講：子ども達を称賛し一緒にケーキを食べるまねっこ。シールはゴールのおばあちゃんのお家に貼るなどして終了。また「ホントは回り道せず、まっすぐ行ったら近かったんだよね」と男の子が回り道していたことも地図で確認する。「お家の人にもおばあちゃんの家行き方教えてあげようね」と期待を持たせつつ、状況に合わせたプリントを片付ける指示を出し、終了する。</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントの入った封筒提示</li> <li>プリント配布</li> <li>男の子カード配布</li> <li>指示が理解できない子のフォロー</li> <li>ケーキシール配布</li> <li>称賛</li> <li>プリントの回収</li> </ul>

数チャレ	数	「2 (本)」「3 (個)」「4 (匹)」の数を数えることができる	教材
設問	おばあちゃんの家に向かう途中で 見つけた花・いちご・蜂の数を数えましょう		
活動内容	※<活動①>の中で実施します。		保育士の役割

### ■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアタータイム	子ども達のドキドキ・わくわくを引き出しながら読み進めることが出来たか 活動①を意識しながら読んだか
活動① 記憶	男のカードを操作しながら楽しく活動に参加出来るよう工夫出来たか その場に合った男の子の行動表現に合わせて、子ども達にも実際に同じ行動をさせてみたりしたか
数チャレ	指で押さえながら数を数える指導を行ったか

## 楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・興味 \*\*\*

### 歩いてみよう

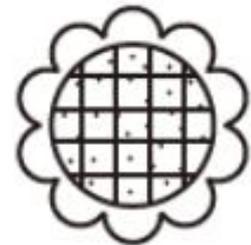
- 特別どこかに出かける必要はありません。自宅や保育園の周りでも少し遠回りしたり、「ここ行くと何があるのかな？」なんて裏道や脇道など探検気分です歩いてみることをお勧めします。新しい発見があるかもしれません。
- 歩きなれた道でも、時間に余裕がある時は気になるものに足を止めて道草しましょう。子ども達にとってきっと特別な時間になることでしょう。



子どもにとって新しい道は発見の連続。楽しい会話も弾むことでしょう。

## 今月のえかきリズム

\*\*\* ビスケット \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

